

令和7年7月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,180	120,885	121,000	121,115	△ 115	△ 230
2 調定量	m ³	625,495	2,424,413	2,428,200	2,468,179	△ 3,787	△ 43,766
3 調定料金(税抜)	円	190,711,686	745,890,579	744,000,000	753,433,001	1,890,579	△ 7,542,422
4 口振加入件数	件	24,673	98,676	-	99,240	-	△ 564

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,426	77,792	77,740	77,040	52	752
6 調定量	m ³	391,940	1,531,667	1,533,510	1,535,378	△ 1,843	△ 3,711
7 調定料金(税抜)	円	81,852,279	320,722,084	323,440,000	285,353,838	△ 2,717,916	35,368,246

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	71,145	-	72,532	△ 1,387
9 給水件数	件	30,028	-	30,112	△ 84
10 開栓処理件数	件	192	1,053	1,120	△ 67
11 閉栓処理件数	件	220	938	1,009	△ 71
12 給水工事設計審査	件	45	133	160	△ 27
13 給水工事竣工検査	件	48	152	157	△ 5
14 経年メーター交換	件	396	1,288	1,591	△ 303
15 メーター口径変更	件	3	14	5	9
16 督促状発送数	件	1,417	5,714	5,650	64
17 月末停止件数	件	128	-	119	9

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	23	81	100	△ 19
19 排水設備工事完了検査	件	21	66	86	△ 20

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D
20 当年度分	221,163,548円	73.04%	215,504,425円	74.00%	△0.96%
21 過年度分	3,614,734円	98.18%	3,653,433円	98.21%	△0.03%
22 計	224,778,282円	-	219,157,858円	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D
23 当年度分	107,554,353円	69.51%	91,924,811円	70.71%	△1.20%
24 過年度分	1,162,763円	98.86%	1,010,427円	98.91%	△0.05%
25 計	108,717,116円	-	92,935,238円	-	-

7 受益者分(負) 担金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率	B-D
26 当年度分	16,188,790円	34.39%	18,749,020円	47.35%	△12.96%
27 過年度分	1,262,800円	6.92%	1,337,700円	5.40%	1.52%
28 計	17,451,590円	-	20,086,720円	-	-

特 記 事 項

1. 7月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

【水道事業】

ア 収益的収支

当期の給水収益は209,783千円(税込)で、前月期に比べて7,582千円の増、対前年同月比では5,821千円の増となっています。営業収益は210,277千円、営業外収益は事務手数料や雑収益など6,201千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など92,603千円、営業外費用は企業債利息として1,462千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金として132千円の執行となりました。支出は、建設改良費として機器整備費や事務費など56,959千円、企業債償還金として3,080千円を執行しました。

【下水道事業】

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は90,038千円(税込)で、前月期に比べて3,549千円の増、対前年同月比では12,865千円の増となっています。営業収益は90,113千円、営業外収益は、他会計補助金や負担金など448,369千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など88,251千円、営業外費用は企業債利息として3,781千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、受益者分担金や受益者負担金24,675千円を執行しました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など103,409千円、企業債償還金として148,183千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 上下水道事業運営審議会委員の委嘱状交付及び第1回審議会の開催

7月14日(月)に第1回登米市上下水道事業運営審議会を開催しました。今回新たに2年間の任期で、市長から委員10名に委嘱状が交付されました。審議会では、会長及び副会長の選出後、市長から会長へ登米市上下水道事業ビジョンの策定についての諮問書を手渡したほか、上下水道事業の概要などについて説明を行いました。



【委嘱状交付の様子】

(2) 料金徴収・給水装置管理等業務委託外部評価を実施

7月15日(火)に料金徴収・給水装置管理等業務委託の外部評価を実施しました。この外部評価は、包括的委託業務における受託者の適正な業務執行状況の把握と業務の内容を適切に評価することを目的として、学識経験者や上下水道事業運営審議会委員等5名で組織されています。委員会では、受託者から令和6年度における委託実施状況について説明を受け、委員からは、概ね良好であるとの評価をいただきました。特に下水道の料金改定への対応など新たな業務が発生したにも関わらず、料金システム改修や印刷物への必要な対応等を滞りなく処理したことについて、高く評価をいただきました。

(3) 栗原市と合同の災害訓練を実施

7月16日(水)に「登米市及び栗原市の水道事業における安定的な水供給に向けた相互連携協力に関する基本協定」に基づき、本市と栗原市との合同災害訓練を実施し、両市から約30名の職員が参加しました。この訓練は、災害時における臨機の連携を行えるよう備えることが目的であり、今後も二市における定期的な訓練等を実施し、突然の災害に備えていきます。



【災害訓練の様子】

令和7年7月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	888,564	3,340,528	2,396,090	3,311,535	944,438	28,993
総配水量	807,928	3,090,022	2,956,320	3,077,472	133,702	12,550
1 有効水量	667,992	2,563,619	2,571,030	2,615,839	△ 7,411	△ 52,220
(1) 有収水量	629,943	2,442,211	2,446,200	2,485,951	△ 3,989	△ 43,740
(2) 無収水量	38,049	121,408	124,830	129,888	△ 3,422	△ 8,480
2 無効水量	139,936	526,403	385,290	461,633	141,113	64,770
(1) 漏水量	139,799	525,189	382,800	460,793	142,389	64,396
(2) その他無効水量	137	1,214	2,490	840	△ 1,276	374
3 有収率	77.97%	79.04%	82.74%	80.78%	△ 3.71%	△ 1.74%

※ 当月期の最大配水量は、7月24日（木）に記録した【27,201m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
浄水施設整備事業	5	2,295,608	0	2,243,572	0	3,441	48,595	97.9%
配給水施設整備事業	30	1,214,395	0	284,829	0	20,425	909,141	25.1%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む。）の合計です。

特記事項

1 外部評価委員会を開催

7月9日に登米市水道事業外部評価委員会を開催しました。当該委員会は、浄水及び配水の包括的委託業務における受託者の業務内容、執行状況等に關し、第三者の視点から調査検討・評価を行うことを目的として設置されています。

当日は、令和6年度の業務実施状況の報告及び委員からの質疑応答が行われました。外部評価委員会は、これらを総合的に判断し、評価書を作成するとともに、市は、必要と判断した場合は、受託者に対し当該評価を踏まえた改善指導を行います。



【委員会での審議の様子】

2 濁水の状況

7月は最高気温30℃以上の真夏日が21日、そのうち35℃以上の猛暑日は9日ありました。降水量も12.0mmと少なく、各水源で水位の低下が進んでいます。1日から31日までの水位の減少率は、以下のとおりです。

- ・下り松取水塔：▲25% (4.00m→3.00m)
- ・大巻取水場：▲10% (3.19m→2.87m)
- ・錦織浄水場：▲25% (2.87m→2.15m)
- ・米谷浄水場：▲21% (5.63m→4.45m)
- ・米川浄水場：▲46% (3.74m→2.03m)

特に米川浄水場では、31日に取水井水位が2.00mを下回り、送水ポンプが停止する事象が発生しています。現在は、米川浄水場の運転時間を減らし、保呂羽水系からの送水量を増やして対応していますが、取水井の水位は依然として低下傾向となっています。

◎ 漏水調査結果（累計）

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m ³ /h)
	配水管	21	35.190
	付属施設	0	0.000
	給水装置	40	24.760
	計	61	59.950

【漏水調査結果：7月】

- 推定漏水量 10.850m³/h
- 推定効果額 約2,539千円
- 推定効果額算定
 - ・R6年度給水原価 314.48円
 - ・7月推定漏水量 10.850m³/h
 - ・10.850m³/h×24h×31日×314.48円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
特定環境保全公共下水道	50,196	205,910	211,357	△5,447	3処理場
米谷・錦織処理区	9,838	40,444	44,328	△3,884	
豊里処理区	28,836	117,309	120,799	△3,490	
津山処理区	11,522	48,157	46,230	1,927	
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	12,742	46,460	47,235	△775	
農業集落排水	100,317	432,738	465,550	△32,813	24処理場
迫地区	7,819	32,576	34,288	△1,712	
東和地区	2,737	10,662	11,085	△423	
中田地区	29,124	123,077	131,585	△8,508	
豊里地区	1,969	7,863	8,030	△167	
米山地区	40,075	180,847	202,123	△21,276	
南方地区	18,593	77,712	78,439	△727	R7.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	45,510	179,443	176,281	3,162	2,204基
合計	442,649	1,812,298	1,926,896	△114,598	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	8	508,469	0	5,798	0	1,271	501,400	1.4%
処理施設整備事業	90	811,212	15	13,065	2	31,649	766,498	5.5%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む。）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。
※ポンプ施設整備事業については、令和7年度の予算計上が無いので状況報告から除く。

特記事項

1 汚水管渠築造工事が完了

7月28日(月)、迫町北方石打坂地区ほか汚水管渠築造工事(R6繰越)が完了しました。この工事は、開削工法による管路(施工延長L=29.20m)マンホール(1基)及び小型マンホール(1基)の整備を行ったもので、令和8年4月1日から供用開始を行う予定です。今後、同地区内未整備となっている管渠及び仮復旧の状態である道路舗装の本復旧を予定しています。公共下水道事業の早期完了に向け、引き続き汚水管渠の整備を行ってまいります。

○浄化槽整備事業受付状況
(7月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	27	53

2 下水道管路の洗浄作業を実施

7月期に迫町佐沼字中江地内外13箇所において、下水道管路の洗浄作業を実施しました。この作業は、繁華街などの飲食店が密集している地域において、過年度に管路の閉塞事故が発生している部分の事故再発の予防保全のため、延長L=1,094mの区間について実施したものです。今後も下水道施設の安全・安心を確保するよう、適切な維持管理を行ってまいります。



【管渠埋設後の状況】